

第2節

防衛力の実効性向上のための構造改革

1 経緯

新防衛大綱においては、即応性、機動性、柔軟性、持続性および多目的性を備え、軍事技術水準の動向を踏まえた高度な技術力と情報能力に支えられた動的防衛力を構築することとされている。動的防衛力の構築のためには、総合的・横断的な観点から、自衛隊全体にわたる装備、人員、編成、配置などの抜本的な効率化・合理化を

図り、真に必要な機能に資源を選択的に集中して、防衛力の構造的な改革を行う必要がある。

このため、防衛省においては、10（平成22）年12月27日に、防衛大臣指示に基づき、防衛副大臣を委員長とする防衛力の実効性向上のための構造改革推進委員会を設置し、検討を行っている。

2 具体的な検討事項

1 検討事項

1で述べた防衛大臣指示において示された検討事項は、次のとおりである。

- ① 統合による機能の強化・部隊などのあり方の検討
各自衛隊が一体となって有機的に対処し、国民の安全を確保するため、統合的な観点から、各自衛隊における機動力、輸送能力、実効的な対処能力の向上、部隊のあり方および指揮統制機能の向上について検討すること。その際、実効的かつ効率的な体制を構築するため、警戒監視、輸送、情報通信、衛生、高射などの各自衛隊に横断的な機能について検討すること。
- ② 横断的な視点による資源配分の一元化・最適化の検討
自衛隊の装備および人員の配置ならびに運用状況を把握し、現有能力を適切に評価するとともに、その抜本的な効率化・合理化を図りつつ、横断的な視点で真に必要な機能・分野に効果的に予算配分をなし得るような事業管理、予算配分、研究開発の仕組みならびに後方業務および情報通信ネットワークなどの一元化・最適化のための仕組みの構築について検討すること。
- ③ 人的基盤に関する抜本的な制度改革の推進
精強性を向上させるため、防衛力の人的側面に関す

る従来の検討を発展させ、自衛官の階級別定数管理などを確立し、士の増勢など各自衛隊の特性に応じた階級・年齢構成の見直し、新たな任用制度、幹部・准曹・士の各階層の活性化のための施策、早期退職制度、募集・再就職援護に関する施策などについて検討すること。

なお、防衛装備品をめぐる国際的な環境変化に対する方策の検討、防衛生産・技術基盤の戦略策定、装備品などの取得にかかる契約に関する制度、装備品などの維持・整備業務のあり方などに関しては、総合取得改革推進委員会の枠組のもとに検討を行ってきたことから、これを更に推進することとされている。

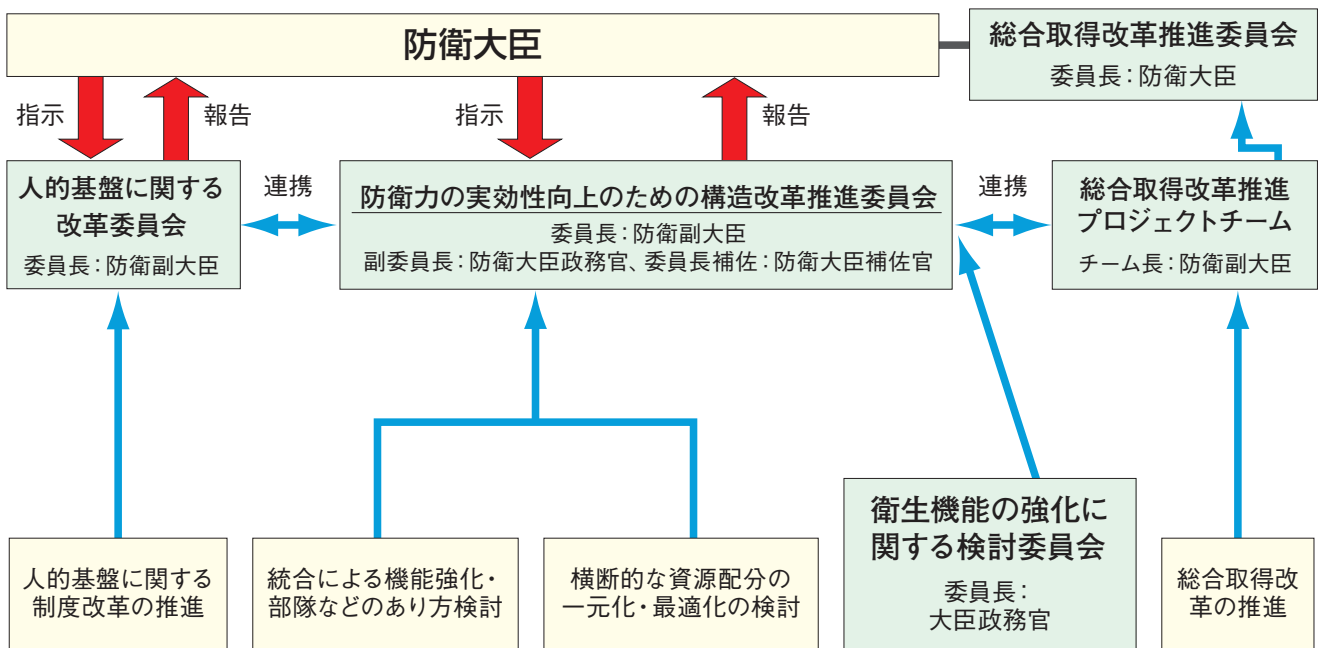
2 検討の枠組

「防衛力の実効性向上のための構造改革推進委員会」における検討は、防衛省内に設置された既存の「人的基盤に関する改革委員会」、「総合取得改革推進プロジェクトチーム」および「防衛省改革推進会議」における検討、更に11（平成23）年2月10日に新たに設置された「衛生機能の強化に関する検討委員会」における検討と密接に連携して行っている。枠組の全体像は、図表Ⅱ-3-2-1のとおりである。



防衛力の実効性向上のための構造改革推進委員会で
あいさつする小川防衛副大臣

図表II-3-2-1 防衛力の実効性向上のための構造改革の推進の枠組



※防衛省改革において検討が進められている事項については、当該検討と十分に連携し改革を推進するものとする。

3 検討の状況

2の「1 検討事項」で述べた事項について、東日本大震災への対応における教訓事項などを踏まえながら、具

体的には図表II-3-2-2に示すような項目に区分し、精神的に検討を行っている。

図表Ⅱ-3-2-2 防衛力の構造改革にかかる検討課題

大項目	中項目	主な課題
統合による機能強化・部隊などのあり方の検討	指揮統制・基本部隊	○指揮統制のあり方 ○重点地域の防衛体制 ○各級司令部、基本部隊のあり方
	機動展開	○前提となる事態、能力などに関する認識と評価の統一 ○機動展開能力を有する部隊のあり方 ○機動展開のための輸送能力
	統合輸送・統合衛生	○各種運用ニーズに対応できる統合輸送態勢のあり方 ○各種事態に柔軟に対処できる衛生態勢・体制
	統合通信・サイバー	○実効的な運用に必要なシステム・ネットワークの構築 ○自衛隊全体として実効的・効率的な通信態勢の確保 ○自衛隊全体としてのサイバー対処態勢のあり方
	事態演習・訓練・教育	○事態演習・訓練のあり方 ○各種運用ニーズに対応できる教育のあり方
	情報収集・警戒監視・偵察活動	○警戒監視態勢のあり方 ○情報収集のあり方
	防空態勢・高射部隊の体制	○防空態勢のあり方 ○高射部隊のあり方
横断的な資源配分の一元化・最適化の検討	部隊能力可視化・評価	○部隊の実情や現有能力の把握と情報共有 ○能力評価のあり方
	諸計画体系見直し	○諸計画体系などの整理 ○防衛大綱・中期防の達成状況などを横断的に評価できる仕組
	予算・事業体系最適化	○各年度の予算要求における重視事項・優先順位の考え方と明確化 ○横断的視点で真に必要な機能・分野に効果的に予算を配分できる仕組
	情報通信事業管理	○現状の課題整理・具体化 ○今後の指揮通信システムの整備方針 ○次期Xバンド通信衛星事業の整備方針
	研究開発事業管理	○研究開発の着手や事業管理のあり方 ○評価基準の厳格化とコスト算定 ○事業目標の設定のあり方
	後方業務効率化	○業務区分の整理 ○駐屯地・基地業務の合理化・効率化の最適な方策の導出と問題点の整理など
人的基盤に関する制度改革の推進	人事管理制度、階級・年齢構成の見直し	○補充・昇任管理の考え方の再整理と人員管理手法の検討 ○定員・現員管理に関する規則体系の再整理 ○規則原案の策定と試行
	後方任用制度	○自衛官の職務・職責の整理・分析と後方任用可能な配置の抽出 ○具体的な制度設計
	早期退職制度	○早期退職制度の対象・目的の整理 ○具体的な制度設計 ○公的部門への再就職の検討
	幹部曹士の活性化	○新防衛大綱を踏まえたパッケージ施策(上級曹長階級の新設、幹部と曹士の別建て俸給表など)の再整理 ○幹部の構成のあり方、編成上の職務・職責の再検討
	募集・援護のあり方	○募集・援護業務の実態把握と人員の規模の検討 ○機構の合理化・改編についての検討オプションの整理
総合取得改革の推進	国際環境変化への対応方策	○防衛装備品をめぐる国際的な環境変化に対応する方策
	防衛生産・技術基盤戦略	○安全保障政策などとの整合性の整理 ○分野別検討および「強み」と「弱み」の把握 ○「選択と集中」のための判断基準の策定
	契約制度など	○企業のコストダウンインセンティブを引き出す契約制度の改善 ○長期継続契約に基づく装備品調達コストの低減 ○集中調達の拡大 ○コスト・データベースなどの構築
	PBL	○防衛省版PBLガイドライン(仮称)の策定 ○PBLパイロット・モデルの実施 ○契約面の課題などの整理
衛生機能の強化	衛生基盤	○自衛隊病院の拠点化・高機能化 ○防医大病院の機能強化 ○情報通信技術の基盤整備 ○メディカル・コントロール体制・態勢の基盤整備
	人材育成・国際協力活動	○医官教育の強化、キャリアパスの見直し(医官の早期退職防止) ○看護師養成課程の4年制化 ○国際協力活動における医療機能(外科手術機能)の拡充